

主なヒアリングテーマ

○第二種指定電気通信設備制度における将来原価方式の導入について

ヒアリング対象者

事業者名		発表者(役職)		説明	質疑
1	(一社)テレコムサービス協会 MVNO委員会	佐々木 太志	運営分科会 主査	5分	6分
2	楽天モバイル(株)	大尾嘉 宏人	常務執行役員	5分	6分
3	(株)インターネットイニシアティブ	島上 純一	取締役 CTO	5分	6分
4	(株)オプテージ	浜田 誠一郎	執行役員 経営本部 副本部長	5分	6分
5	(株)NTTドコモ	榊原 啓治	企画調整室長	8分	8分
6	KDDI(株)	関田 賢太郎	渉外部 部長	8分	8分
7	ソフトバンク(株)	伊藤 健一郎 南川 英之	相互接続部 部長 相互接続部 課長	8分	8分
				計	92分

※ 説明時間終了の1分前にベルが1度、終了時にベルが2度鳴ります。
また、ヒアリングは入れ替え制になります。
円滑な議事進行にご協力をお願いいたします。

ヒアリングの進め方

ヒアリング事項(1/3)

ヒアリング項目	MNO	MVNO
対象機能	<ol style="list-style-type: none">1. データ伝送交換機能のみ将来原価方式により算定しなければならないこととすることについて、見解をお教えてください。	<ol style="list-style-type: none">1. 将来原価方式による算定の対象はデータ伝送交換機能のみとすることとよいか、見解をお教えてください。2. 将来原価方式による算定は必須とすることとよいか、見解をお教えてください。
予測値の算定方法	<ol style="list-style-type: none">2. 具体的な予測値の算定方法を予め定める必要があるか、定めることとする場合、どのような方法とすることが適当か、見解をお教えてください。3. 「設備管理運営費」、「正味固定資産価額」、「需要」のほか、予測値の算定対象とすることが適当と考えられる項目があれば、お教えてください。	<ol style="list-style-type: none">3. 具体的な予測値の算定方法を予め定める必要があるか、定めることとする場合、どのような方法とすることが適当か、見解をお教えてください。4. 「設備管理運営費」、「正味固定資産価額」、「需要」のほか、予測値の算定対象とすることが適当と考えられる項目があれば、お教えてください。
算定における事業計画の使用	<ol style="list-style-type: none">4. 予測値の算定は、原則として、事業計画を用いて行うこととし、その補完として過去の実績値からの推計を用いることとすることについて、見解をお教えてください。5. 事業計画について、どのような項目について、どのような周期で、何年度分、いつ頃策定しているのか、お教えてください。公表しているものだけでなく、可能な範囲で、内部で作成されているものも含めてお教えてください。	<ol style="list-style-type: none">5. 予測値の算定は、原則として、事業計画を用いて行うこととし、その補完として過去の実績値からの推計を用いることとすることについて、見解をお教えてください。

ヒアリングの進め方

ヒアリング事項(2/3)

ヒアリング項目	MNO	MVNO
費用区分、資産区分ごとの算定	<p>6. 「設備管理運営費」については「移動電気通信役務収支表」の費用区分、「正味固定資産額」については「役務別固定資産帰属明細表」の資産区分ごとに予測値の算定方法を設定し、予測値の算定を行わなければならないこととすることについて、見解をお教えてください。</p> <p>7. 上記費用区分、資産区分について、予測値の精緻な算定を行うため、可能な範囲で、それらをさらに細分して算定を行わなければならないこととすることについて、見解をお教えてください。</p> <p>8. 上記費用区分、資産区分について、事業計画を用いて予測値の算定を行うこととした場合、具体的に、どの費用区分について、事業計画のどのような項目を用いて算定することが想定されるか、また、どの資産区分について、事業計画のどのような項目を用いて算定することが想定されるか、現時点での感触をお教えてください。</p> <p>9. 需要の予測値の合理的な算定方法について、お考えがあれば、お教えてください。</p>	<p>6. 「設備管理運営費」については、「移動電気通信役務収支表」の費用区分、「正味固定資産額」については「役務別固定資産帰属明細表」の資産区分ごとに予測値の算定方法を設定し、予測値の算定を行わなければならないこととすることについて、見解をお教えてください。</p> <p>7. 上記費用区分、資産区分について、予測値の精緻な算定を行うため、可能な範囲で、それらをさらに細分して算定を行わなければならないこととすることについて、見解をお教えてください。</p>
精度の高い算定の確保	<p>10. 予測接続料と実績接続料の差額が大きくなるような措置について、見解をお教えてください。</p>	<p>8. 予測接続料と実績接続料の差額が大きくなるような措置について、見解をお教えてください。</p>
算定方法の検証・見直し	<p>11. 予測値の算定方法について、その適正性を検証し、必要に応じて見直しを行うことを毎年度繰り返し行っていくことについて、見解をお教えてください。</p>	<p>9. 予測値の算定方法について、その適正性を検証し、必要に応じて見直しを行うことを毎年度繰り返し行っていくことについて、見解をお教えてください。</p>
予測値の算定期間等	<p>12. 3年度分の予測値の算定を毎年度繰り返し行うこととすることについて、見解をお教えてください。</p> <p>13. 接続料算定時期の早期化について、見解をお教えてください。また、予測値に基づく接続料の算定について、算定時期の早期化と算定の精緻化の関係について、見解をお教えてください。</p> <p>14. 現在、接続料の届出が年度末となっているところ、接続会計整理後、届出までになぜそれだけの期間を要しているのか、具体的に接続料算定に係る作業を時系列で示しつつ、お教えてください。</p>	<p>10. 3年度分の予測値の算定を毎年度繰り返し行うこととすることについて、見解をお教えてください。</p> <p>11. 接続料算定の早期化について、具体的にいつごろまでの算定が必要か、見解を教えてください。</p>

ヒアリングの進め方

ヒアリング事項(3/3)

ヒアリング項目	MNO	MVNO
予測と実績の乖離の調整	<p>15.予測と実績の乖離による差額について、何らかの調整を行うべきか否か、見解をお教えてください。</p> <p>16.何らかの調整を行うこととした場合、「精算」と「乖離額調整」のどちらの方法が適当か、具体的に、両者の得失を示しつつ、お教えてください。</p> <p>17.「精算」か「乖離額調整」のいずれかを導入する場合、導入に当たり、何か留意すべき点があれば、お教えてください。</p>	<p>12.予測と実績の乖離による差額について、何らかの調整を行うべきか否か、見解をお教えてください。</p> <p>13.何らかの調整を行うこととした場合、「精算」と「乖離額調整」のどちらの方法が適当か、具体的に、両者の得失を示しつつ、お教えてください。</p> <p>14.「精算」か「乖離額調整」のいずれかを導入する場合、導入に当たり、何か留意すべき点があれば、お教えてください。</p>
原価等算定の精緻化	<p>原価や需要の算定について、現状ルールが定められておらず事業者において任意に行われている範囲がありますが、実態として具体的にどのような算定を行っているのか、次のとおり、お教えてください。</p> <p>(原価)</p> <p>18.移動電気通信役務に係る総費用からのデータ伝送役務に係る費用の抽出については、配賦整理書において一定の基準が示されているところ、データ伝送役務に係る費用からの回線容量課金対象費用の抽出、回線容量課金対象費用からの接続料原価対象費用の抽出について、具体的に費用項目ごとにどのような基準で抽出を行っているのか。</p> <p>(需要)</p> <p>19.需要とは具体的に何の値なのか。実トラヒックの増加に比べ需要の増加が低いのではないかと指摘があるが、実トラヒックの変化と需要の変化にはどのような関係があるのか。</p> <p>20.届け出られた需要の真正性を検証することについて、見解をお教えてください。</p>	<p>15.接続料の算定の精緻化の手段としてどのようなものが考えられるか、見解を教えてください。</p>
その他	<p>21.接続料収入の推移をお教えてください。(年度ごとに、当該年度における暫定支払額、当該年度末の一次精算による精算額、翌年度末の二次精算による精算額(いずれも支払猶予を行わなかったとした場合の数値も併せて。少なくとも平成25年度以降のもの全て。))</p> <p>22.平成25年度以降の各年度末におけるMVNO(L2接続を行うものに限る。)の社数、契約帯域幅(全MVNOの合計)及び回線数(全MVNOの合計)を教えてください。</p>	